

北見市における特別管理路線に係わる安全対策の実施状況について

当社では、北見市における新たな「ねずみ鑄鉄管」の発見を受けた安全対策（2月13日公表）の一環として、現在、特別管理路線（約8km）における冬期自主漏えい検査を実施しておりますが、その実施状況について以下のとおりご報告申し上げます。

当社としましては、これらの安全対策の着実な実施、ご協力いただく住民の方々へのきめ細かな対応に引き続き努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

<これまでの状況>

- ・特別管理路線上のボーリング検査を、2月12日から2月20日にかけて実施しました。継手の緩みなどによる微量の漏れが一部で発見されましたが、ただちに修理を行っております。
- ・さらに安全確保に万全を期すため、引き続き特別管理路線近傍のマンホール検査を、2月26、27日の2日間で実施しました。検査の結果、漏えいは発見されませんでした。
- ・以上の漏えい検査状況につきましては、北見市と協力し、路線近傍にお住まいの皆様への報告を都度行っております。
- ・なお、当初より入れ替え対象としていた「ねずみ鑄鉄管」路線（約1.8km）につきましても、1月10日から1月15日にかけてボーリング検査を、2月中に2回のマンホール検査をすでに実施しております。検査の過程で、継手の緩みなどによる微量の漏れが一部で発見されましたが、ただちに修理を行っております。

<今後の予定>

- ・特別管理路線近傍のマンホール検査については、残存している「ねずみ鑄鉄管」路線と同様に、今後も2週間に1回の頻度で4月11日まで実施する予定です。
- ・管種確認のための試験掘削調査については、3月上旬から4月中旬にかけて実施する予定です。

特別管理路線について

昨年12月に北見市において導管図情報と管種が異なる「ねずみ鑄鉄管」が2箇所で見出されたことを受け、「ねずみ鑄鉄管」の可能性のある路線（昭和44年以前に竣工したガス導管で口径が75mm以上 総延長数：約4.7km）と、「ねずみ鑄鉄管」の可能性は極めて低いと思われるものの、さらに安全確保に万全を期するために追加的に調査が必要と考えられる路線（昭和45～47年に竣工したガス導管で口径が75mm以上 総延長数：約3.3km）を「特別管理路線」（計約8km）と位置づけ、当該路線における自主的な冬期漏えい検査の実施、沿線のお宅へのガス警報器無償貸し出し等、これまでの「ねずみ鑄鉄管」埋設路線の管理と同様の安全対策を講じております。

以上